

大きくなって戻ってね 洞爺湖でサクラマス放流

5月23日、洞爺湖漁業協同組合（篠原 功組合長）が実施するサクラマス放流が、洞爺湖温泉小学校、とうや小学校の児童をそれぞれ招いて行われました。

洞爺湖の豊かさを知ってもらおうと毎年実施していて、今年は各小学校で、約5センチほどに成長した稚魚を1万匹ずつ放流しました。

洞爺湖温泉小学校では、1、2年生合わせて13人が参加して、同小近くの湖畔で実施。

児童らは、プラスチックカップに移し替えた稚魚を「おおきくなってね」と言いながら湖に放しました。



洞爺湖にサクラマスの稚魚を放流する温泉小の児童たち

旧道立洞爺少年自然の家に設置されていた「ぐるっと彫刻公園」



彫刻をくぐって遊ぶ洞爺保育所の園児たち

58基の一つ「春遊台」が、洞爺湖芸術館に移され、5月28日お披露目式が行われました。

作者で彫刻家の加治晋さんや真屋町長、洞爺湖芸術館友の会の皆さんら12人が出席。

お披露目式では、加治さんが「地域の文化に貢献できることは光栄です。子供らが彫刻をくぐってあそんでほしい」と挨拶しました。

式の後、洞爺保育所の園児らが訪れ、彫刻に登ったり、くぐったりして楽しく遊んでいました。

ぐるっと彫刻「春遊台」移設 お披露目式開く

5月31日から3日間の日程で、洞爺湖町と姉妹都市提携を結んでいる箱根町の消防団（栗原宏



来町した箱根町消防団の皆さんとの意見交流会

臣団長）11人が来町しました。

洞爺湖町の消防団との意見交流会では、2000年有珠山噴火時の消防団の活動状況や町の防災対策について説明。箱根町からは、有珠山噴火活動時の避難体制についての質問などが出されました。

6月1日は歓迎の昼食会が開かれ、地元特産の魚介類や野菜など、洞爺湖町の「食」を堪能していました。

箱根町消防団来町 地元消防団との交流図る

ななかまどの会サクラ植樹 温泉街を桜の名勝に

ボランティアサークルななかまどの会（坂井千枝会長、会員8人）が、6月7日、洞爺湖温泉噴水公園内にヤマザクラの苗木3本を植樹しました。

同会が毎年この時期に行っている行事で、3年続けて洞爺湖温泉公園で、ヤマザクラ植樹を行ってきましたが、今年は噴水公園内の駐車場横に場所移して実施しました。

当日は会員4人が参加して作業を行い、「サクラで洞爺湖町を綺麗にして、たくさんの観光客に来てほしい」と会員の皆さんは、木の成長を願っていました。



植樹後記念撮影するななかまどの会のメンバー

まちのわだい

